全戸配布

令和８年１１月１日

小諏訪区民の皆様へ

小諏訪自治会
会長　上　哲也

# 役員選出方法等の自治会制度の変更について

先般、役員選出方法等の自治会制度の変更についての文章を全戸配布させていただきました。多くの皆様よりお言葉やご意見等を頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

今回、皆様よりいただきましたご意見に対する回答をさせていただきます。また、今回の制度変更については１１月に臨時総会を開催し、代議員の皆様にお諮りいたします。何卒、御理解及びご協力の程お願いいたします。

## 【自治会長の業務内容について】

自治会長の業務がどのようなものがあるかを知りたいとの声をいただきましたので紹介させていただきます。

毎月の業務
・役員会の準備及び開催
・片浜地区連合自治会及び片浜地区コミュニティ推進委員会への参加

各種行事の準備及び開催
・合同会議（年３～４回）
・海岸清掃（６月）
・お盆の精霊収集
・防犯灯の管理（不定期）
・年末及び新年の神社関連行事
・総会（年１回以上））
・祭典
・諏訪神社特別清掃（年２回）
・広報・回覧物のとりまとめ
・どんど焼き（１月）

その他の業務
・道路、側溝、その他小諏訪区内施設の修繕、新設等の要望を市に提出
・片浜地区コミュニティ推進委員会関連の各種行事、会議への参加
・民生児童委員や各種行政委任委員等の輩出
・片浜地区コミュニティ推進委員会関連団体への役員・委員の輩出
・小諏訪区内での工事における工事業者への対応
・諸問題における行政との連携

上記がすべてはございませんが、主なものを書き出してみました。分量は多く見えますが、他の役員の方と分担しておこなえばそれほど負担にはなりません。私の感覚としては月に１０～１５時間程度自治会業務に費やしていると感じています。

裏面あり

## 【組非加入の自治会員の増加について】

現在、組に非加入の自治会員が増加しています。今回の制度変更により、非加入者の増加につながるのではという意見もありますが、その可能性は十分にございます。
しかしながら、自治会とは本来互助的な組織であり、一部の人に負担が集中するのであれば健全な状況であるとは言えません。また、組の非加入というものは元来、賃貸物件に居住している住民を対象としていたものですが、制度としてはっきりしていなかった為に、今の状況を招いていると考えます。今後、自治会会員区分を見直し、自己所有物件に居住している方は組加入を原則とし、賃貸物件加入者にのみ準会員等での加入を認める等の制度も必要になると思われます。

その場合、今度は組の非加入のみならず、自治会へ加入しない方が増えてしまうという恐れがあります。小諏訪自治会は認可地縁団体として登録されていますが、総務省によると認可地縁団体の構成要件には「その区域に住所を有する全ての個人は、構成員となることができるものとし、その相当数の者が現に構成員になっていること」とあり、相当数の者とは一般的には「過半数」とされています。また、認可地縁団が認可を取り消される可能性がある条件として、「構成員が多数脱退し、「相当数の者」が構成員となっているとは認められなくなったとき」というものがあります。つまり、半分以上の方が自治会を脱退すると、自治会が存続できない可能性があります。

## 【自治会が無くなったらどうなるの】

自治会が無くなった場合、様々な影響が皆様の生活に現れる恐れがあります。他の市町村等の事例も踏まえ、以下のような状況が考えられます。

**防犯灯が消える**　現状、防犯灯は自治会が契約し、支払いをしている為、防犯灯が消え、夜間はこの地域は真っ暗となります。他の市町村の事例では、自治会解散による防犯灯の問題により、防犯灯の管理が市に移った事例がありますが、そのようになるまでには時間がかかります。その間、防犯灯が消えたままになる可能性は非常に高いと思われます。

**ゴミ集積所がつかえなくなる**　原則として区内のゴミ集積所は自治会の申請により設置しています。当然、自治会がなくなればそのゴミ集積所は廃止となります。新たに同じ場所に集積所を設置することは可能だとは思いますが、その場合、そのゴミ集積所を使う人たちでグループを作り代表者を決め、自分たちで市に申請をする必要があると思われます。

**その他にも交通安全設備や広報、災害時の対応などで自治会が果たしている役割は非常に重要です。**

## 【今後に向けて】

自治会とは相互扶助の組織であり、役員等を含め皆が役割を分担して運営していく必要があります。しかしながら、価値観や生活スタイルが多様化とした現在、従来の自治会活動を続けていくことは非常に難しいことだと思います。今後、自治会を継続していく為には加入者の負担を減らしながらも、自治会として必要な活動はしっかりとおこなう等、時代に合った組織への変化していく必要があると強く感じます。今後も皆様の意見を聞きながら、より良い自治会を目指していきたいと思います。